

# イノベーション・マネジメント

## サマリー

### 基本的な考え方

Daigasグループにとって、技術は企業競争力のベースであり、研究開発は最も重要な企業差別化戦略の一つであると考えています。また、デジタル技術を積極的に事業に取り組み、革新的なサービス創造やデータマネジメントの進化、業務プロセスの改革が、事業競争力の向上につながると認識しています。当社グループは、近畿圏において都市ガスを安定的に供給しながら、お客さまの快適な暮らしやビジネス発展につながる様々な新技術の研究開発、実用化に取り組みむことで、周辺分野にも事業を広げ、地域とともに発展してきました。今後も環境や社会に配慮した持続可能な開発と成長を実現するため、様々なステークホルダーと協働しながら新しい価値を創造し、多様なメニューや新技術をお客さまに提供していきます。

テーマ	取り組み事項	具体的な取り組み
<b>デジタルトランスフォーメーション(DX)による事業変革</b> → P.065	<ul style="list-style-type: none"> <li>新サービスの創造</li> <li>業務プロセスの変革</li> <li>DX推進体制の強化</li> </ul>	<b>方針・推進体制</b> 社会や動く環境の激変、お客さまの価値観が変化するなかで価値を提供し続けるため、「変わり続けられる企業グループ」を目指しています。進めざましいデジタル技術を積極的に事業に取り組み、新サービスの創造による価値提供と業務プロセスの変革による生産性向上をともに加速させます。2022年4月には経営企画本部にDX企画部を設置し、全社委員会[DX推進委員会]にてDaigasグループ全体のDX推進に関し、組織横断的な調整・推進を行っています。2023年度は事業人材とデジタル人材一体のチームでお客さま体験と業務プロセスの両方を変革する取り組みや、仕事の進め方変革の取り組み「Daigas X(Daigas トランスフォーメーション)」など具体的な取り組みを始動しました。
<b>研究開発・知的財産</b> → P.068	<ul style="list-style-type: none"> <li>カーボンニュートラル実現に資する技術・研究開発</li> <li>エネルギーの安定供給・保安の確保のための技術開発</li> <li>新規ビジネス創出のための研究開発</li> <li>知的財産権の確保および活用</li> </ul>	<b>方針・推進体制</b> 「カーボンニュートラルビジョン」「エネルギー転換2030(ET2030)」「中期経営計画2026」に沿って、カーボンニュートラル社会の実現を目指し、エネルギーの安定供給・保安の確保はもちろんのこと、新規ビジネス創出のための技術・研究開発を推進します。技術開発にかかわる規程等に基づき、技術開発の実施の判断、およびテーマの重要度に応じた適切な予算配分を行うとともに、実施時における進捗のフォローを実施しています。
<b>新規事業創出</b> → P.069	<ul style="list-style-type: none"> <li>Daigasグループ独自技術の事業化</li> <li>多様なパートナーとの連携による新規事業開発</li> </ul>	<b>方針・推進体制</b> Daigasグループが培ってきた技術を活用した事業化に取り組みむとともに、他社の技術・サービスと当社グループの強みを掛け合わせて新たな事業の創出を図り、グループの収益増加を目指すとともに社会課題解決に貢献します。2024年度からは、新規事業創出機能を事業創造本部傘下に集約し、研究・技術開発から多様なパートナーとの連携、事業化までを一貫して推進し、さらなる新規事業創出に取り組みます。